

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!



▲短冊切りにする音が会場に響き渡りました

日野菜漬けを体験しよう

南比都佐公民館セミナー

11月22日(土)、南比都佐公民館において、『第14回「料理教室」～日野菜の漬け物講習会』が、なんぴ青空市場と共に催されました。

たいと、埼玉県や湖南市からの参加者6名を含め、43名の方が参加されました。

寺澤清穂さんを講師に迎え、秋空の広がる公民館駐車場で、一斉に作業を開始。

たくさんの日野菜を一生懸命短冊切りされました。

休憩時間には、寺澤さんお手製の日野菜漬けの試食と講義が行われました。その間に日野菜漬けは、ほんのりピンク色に染まり、お土産として持つて帰られました。



▶奥之池会議所にたくさんの方が集まりました



言葉が通じなくても心は通じる!

町内4家族がJICA受け入れ

11月21日(金)から23日(日)まで、滋賀

県青年団体連合会が窓口となり、JICA

A(独立行政法人国際協力機構)が行う

青年研修事業の一環のホームステイの受け入れが行われました。これは、中央ア

ジア等の全部で6か国24名が環境保全の

学習のために来日されたもので、町内では、ボランティアの4家族がトルクメニ

スタンとタジキスタンの男性4名の受け

入れをされました。

22日(土)には、受け入れた4家族が集まり、もちつきをされました。杵でもちをつくときには、「よいしょ！」と全員で掛け声をかけ、交代でもちつきに挑戦。つきたてのおもちは柔らかく、片言の英語で「グッド！（おいしい）」と感想を話されていました。

22日の夜には、奥之池福祉社会の皆さんのが「おでんと芋煮会」に招待されました。奥之池では、以前にも外国からの来町者を受け入れるなど、国際交流の経験をお持ちで、皆さんの手料理を食べながら楽しいひとときを過ごされました。

23日は、朝、結婚式場へ向かう華麗な花嫁姿を見ることができ、それぞれの家庭で日本文化を体験されました。

4名とも日本語は話されないので、片言の英語とロシア語での交流となりました。辞書を手に、身振りを交えながら思疎通を図っておりました。温かい受け入れ体制の中で、お互いに貴重な国際交流となりました。



まちのわたり



▲島田あづささん（写真中央）の羽根で充電したミニカーが一番長く走りました



▲うちわで羽根を一生懸命扇いで発電しました

ワークショップでは、風車の羽根がよく回るよう自分たちで形を考え作り、風力発電機につけて発電量を調べました。グループで一番発電量が多かった羽根をつけて、うちわで扇ぎ、充電した電気でミニカーを走らせました。発電を実体験する楽しい授業となりました。

この授業は、エネルギー問題や地球温暖化問題を楽しく学ぶもので、漫才師の「せーじ・けーすけ」のお一人が、悪の大王と名探偵に扮し、地球温暖化の原因や新エネルギーの大切さなどを、クイズを交えながら、分かりやすく話されました。

新エネルギーって何だろ？

日野小学校で特別授業

11月27日(木)、日野小学校4年生86名が、財団法人新エネルギー財団が企画する「新エネルギー教室」を受けました。

この授業は、エネルギー問題や地球温暖化問題を楽しく学ぶもので、漫才師の「せーじ・けーすけ」のお一人が、悪の大王と名探偵に扮し、地球温暖化の原因や新エネルギーの大切さなどを、クイズを交えながら、分かりやすく話されました。

受け継がれてきた民俗文化を一冊に

町史発刊記念講演会開催

11月30日(日)、西大路公民館で、町史の「民俗編」発刊記念講演会が開催され、80名が参加されました。

近江日野商人館の満田良順館長が

『近江日野の歴史』第6巻「民俗編」の刊行を終えて」と題し、調査やアンケートに応じてくださった方々の協力があつたこと、日野の民俗文化について発刊できること、日野の民俗文化の地域性などについて講演されました。

また、甲賀市教育委員会の米田実さんは

「むらの祭り・まちの祭り」と題し、町

の人々が自分たちの祭りを楽しむ華やかさ

と、伝統を守る厳しさが日野祭にあるこ

となどを講演されました。

身近な祭りやわらべ歌なども載った第

6巻「民俗編」を、ぜひご覧ください！



▶会場からも積極的な質問がありました



▶東桜谷公民館前を一斉にスタート！

寒さを吹き飛ばして駆け抜けた

第39回町民駅伝大会

12月7日(日)、晴天の中、日野町連合青年会主催の第39回町民駅伝大会が行われ、45チームが参加されました。

今回のコースは、東桜谷公民館をスタート地点とし、原→西明寺→西大路を通って、東桜谷公民館に戻る「わたむき駅伝コース」。

選手の皆さん、「がんばれ！」という沿道からの声援を受けて、大きな呼吸をしながら一生懸命走り抜きました。優勝されたチームは、次のとおりです。

【優勝】総合の部・日野中陸上部A／オープンの部・石井美容室／イセノカラキマシタ／小学生の部・ミニ陸上オレンジ